

よい会社をつくろう よい経営者になろう よい経営環境をつくろう

7

July
2021

山形県中小企業家同友会

月刊 同友 やまがた



青年部 6月例会



よい会社 よい経営者 よい経営環境をめざす
中小企業経営者の全国組織

2021年度スローガン

ポストコロナを見据え、
自社の事業価値を **アップデート** しよう

経営指針の成文化で自社の進むべき道を描く

5月29日に「第26期経営指針をつくる会」が5名の受講生を迎えて開講しました。会場となったホテルシンフォニーには、受講生をはじめとして総勢34名が集まり、共に学びました。

開催にあたり小川委員長は、「経営指針の成文化を通して、自分と向き合い、会社と向き合い、社員と向き合える機会があることは非常に素晴らしいことだと思います。経営指針はつくって終わりではなく、実践して会社を良くしていくことが重要です。そして、中小企業は地域と共に生きていくことがとても重要です。地元山形を盛り上げていくためにも、もっと踏ん張っていかないとはいけませんし、我々が中心となって山形を動かしていくという気概を持って取り組んでいただきたい」と挨拶しました。

続いて、川合代表理事が「企業は経営者次第で変わってきます。経営者が率先垂範していかないと社員は育たないのではないかと。いろんな捉え方、学びがあると思いますが、素直に聞いていただいて、こうしたい、こうしようという整理整頓をしていくことが非常に重要です。未来の為、明日の為頑張って学習して参りましょう」と挨拶しました。



第1講では、(株)ティスコ運輸 代表取締役 菅原茂秋氏による「労使見解について学ぶ」をテーマとした講義が行われました。『人を生かす経営』の輪読を行いながら、経営者の責任、労使関係にまつわる問題や課題について考えを深め合い、自社としてどうあるべきか置き換えて考えることの重要性を説明しました。今期より『逆風をもって「徳」とする』(宮崎同友会:「あかいし文庫友の会」発行)が新たに



副読本として加わりました。赤石義博氏が自主・民主・連帯の精神で社員と徹底的に議論し、オイルショックを乗り越えたことに触れた上で、「自分たちの持っている価値を知っているかどうかがこの指針では問いかける。様々な資産をフル活用させることをしっかり意識してほしい。そして、社員の人生に関わるという責任と自負を持つことが重要です。社員の危機感をあおるのではなく、納得させるために色々な側面から評価、分析をし、現状認識の一致を図っていただきたい。赤石氏の言葉に『生きる 暮らしを守る 人間らしく生きる』がありますが、これが社員の究極の欲求であり、これを満たすためにはどうすべきか考えている経営者と考えていない経営者では深みが違ってきます」と述べました。そして最後に「苦難の道になるかと思いますが、乗り切ってください、すばらしい企業づくり、地域の繁栄、企業の発展に取り組んでいただきたい」とエールを送りました。

第2講では、山形大学 大学院理工学研究科 ものづくり技術経営学専攻 専攻長・教授 小野裕幸氏による「同友会らしい経営指針の確立～現状認識を深め、経営理念作成を目指して～」と題した講義が行われました。

グループ討論では「会社の現状はどうなっていますか?」「何のために経営していますか?」という問いかけをもとに、各々が自社の現状認識と経営の目的について考えを深め、経営指針づくりにはいりました。

これから半年間、受講生は自分と自社に真摯に向き合い、社員や同期の仲間と関わり合い、議論を深め合いながら、経営指針を作成していきます。

第17回庄内支部総会

庄内へ同友会を発信して行こう！



5月26日、第17回庄内支部総会が開催されました。地域内で新型コロナウイルス感染症のクラスターが発生したことを受け、総会のみ、かつオンラインでの開催となりましたが、鶴岡・酒田両地区会から19名が参加しました。

総会では、「庄内へ同友会を発信して行こう！」をスローガンに掲げる2021年度活動方針が決まりました。昨年度に地区会制度が承認されたことで鶴岡地区会と酒田地区

会が設立され、今年度から本格的に各地区会での活動がスタートします。

活動の先導役として、支部長に板垣一紀氏、副支部長・鶴岡地区会長として佐藤知志氏、同じく副支部長・酒田地区会長として佐藤栄司氏、酒田副地区会長として小寺祐也氏が再任され、鶴岡副地区会長として平形洋司氏が選任されました。

新役員として、板垣支部長が「二地区での活動が始まるが、酒田の会員が鶴岡に、鶴岡の会員が酒田に参加することもできる。さらに全国行事にもオンライン参加ができるようになっているので、たくさん学び、実践していきたい。庄内を盛り上げていくためにも、皆様には様々な場で学び、感じたことを支部内で発信していただきたい。よりよい支部づくりに取り組む一年としたい」と抱負を語りました。

第27回さくらんぼ支部総会

100年に一度の変革期 学びと実践で変化に対応していこう！

5月27日、天童温泉 ほほえみの宿 滝の湯に於いて、第27回さくらんぼ支部総会が開催され、支部内外から38名が参加しました。女性部が連携し積極的な参加呼びかけを行い、参加者の約半数が女性という躍動感溢れる支部総会となりました。

第1部の総会では、「100年に一度の変革期 学びと実践で変化に対応していこう！」をスローガンとした2021年度活動方針が採択されました。活動の先導者として、支部長に武内賢二氏、副支部長に菊地仁士氏、齋藤和彦氏、斉加義三氏、白鳥明美氏が選任されました。

第2部の記念講演では、山口織物鷹山堂有限会社 代表取締役 山口道子氏より「伝統と革新 米沢織の新たな価値を見出して」と題し、ご講演いただきました。

『米沢織』といえば、自然の草木で染めた糸で織りあげられた織物で、着物等の高価なものが主流となる中、山口氏は「現在のライフスタイルに合う米沢織」にリノベーションし、お財布やバッグなど気軽に使えるブランド『米織小紋』を立ち上げました。糸を生かし、日常的に誰もが使用できるものにしたいと事業領域を広げたことで、かつて織物を作る「機屋(はたや)」だった同社が自分たちの手で素材を生み出し、縫製販売する一貫したメーカーへ転身しました。その背景には、デザイナーとして、地域の中での生活者としての歩みがありました。



コロナ禍の中、催事販売が行えない、インバウンドを狙った店舗が閉店を余儀なくされるなど影響を受ける同社ですが、他の機屋との連携や、ノベルティの製作、アートギャラリーの開設など新たな取組みを始めています。山口氏は「同友会では『学びを止めない』と言うが、自社では『挑戦を止めるな』ということはずっと考えている。危機感を持ち、為せば成ると考え、やれるところまでやることしかない」と述べました。

参加者からは「新しい価値観、考え方を自らにつくり、それを基に事業などに活かす大切さを学んだ」「大事にしたいものをぶらさずに領域を広げることの重要性を感じた」「自社だからできること、個性を出すことを考えたい」といった感想が寄せられ、盛会のうちに閉会となりました。

誰もが働きやすい愛あふれる会社を目指して

6月3日、TISカンファレンスセンターにおいて、今年度初の女性部例会が開催され、会内外より24名が参加し、共に学びあいました。



報告者に(有)東住宅産業 代表取締役 白鳥明美氏をお招きし、「浪花節だよ人生は♪～計画通りに行く人生なんてない～」と題し、出産・育児を切り離して考えることはできない女性社員の雇用と、相次ぐ女性社員の出産をどのよう

に受け止め、少ない人数でどう乗り越えてきたのかご報告いただきました。

同社は1970年に夫である功氏が創業。今年5月に事業承継し、地域の住医として、冬でも全室あたたかな北海道生まれの温湿度管理住宅ファース工法(ヒートショックが起きにくい高性能住宅)を中心に住宅の建築を行っています。

社長であるご主人の怪我や社員やご自身の病という深刻な事態が次々と起こる中、白鳥氏は常に前を向き奮闘しつづけてきました。

白鳥氏は「女性には務まらない」という社内の反対を押し切り、工務部門に女性社員を採用しました。家づくりの際に求められる、細やかなアドバイスには女性の視点が活きたと考えたからです。日頃から社員とコミュニケーションを密にとり、結婚や出産、育児などの人生設計についての考えを聴き、希望を叶えるにはどうすべきか、どのような方法があるかを社員と共に考えてきました。育休を終えて、職場復帰する際には、給料を据え置く形で時短勤務を導入しました。また、子育て中に有給休暇が取りづらかったという自身の振り返りから、子どもの急な発熱などに備え、気兼ねなく休むことができるよう、有給休暇について

も制度整備をおこないました。労務面だけではなく、社員間の軋轢が生じないように、個々が各々の業務に責任を持ち、足りないところを補い合う関係づくりにも取り組み、子育て世代のみならず、誰もが働きやすい職場づくりに輪を広げています。

女性、妻、母としての経験を誰もが気持ちよく働ける職場づくりに活かすだけではなく、自身も病気になるおかげで仕事を見直し、経理業務を社員に任せる良いきっかけになったとしなやかに語りました。

その後、「一人ひとりが働きやすい職場とは？」をテーマにグループ討論を行い、男性・女性、経営者と従業員、管理者と一般社員、様々な視点から意見交換を行いました。参加者からは「普段から話ができる雰囲気作りやコミュニケーションが大事。若い社員のために、出産や育休等の前例を作っていくことも必要だ」「社員が働けなくなるという視点で考えれば、男女に限った話ではない。BCPについて考え、財務計画・経営計画を考えることが重要だ」「社員にどういう想いで働いてほしいか、管理者側のレベルアップ、意識改革が必要だ。社員を大事にしなければならない」といった感想が寄せられました。



今年度女性部では「女性経営者、リーダーとして、新しい時代の働き方・生き方を学び、愛のあふれる会社づくりを実践します」のスローガンの下、自分・自社・社会の課題を見出しながら、共に磨き合っていきます。

同友会の指針を作ったことで会社の未来が明確になった!!



6月14日、青年部6月例会がオンラインで開催され、県内外から51名が参加しました。

報告者として、(株)セルヴァン 代表取締役 東海林武氏が「経営理念の浸透とチームビルディングの取組」のテーマで経営実践を報告しました。

東海林氏の父が創業し、山形市で複合フィットネスクラブ、ゴルフ練習場等を運営する(株)セルヴァン。東海林氏は2011年、父の要望で同社に入社。疲弊した雰囲気、退職が相次ぐ状況を改善するため積極的に意見しますが、却って会議中の親子喧嘩が常態化。社内の雰囲気も悪化するという負のサイクルが回っていました。

しかし2018年、その父が急逝し、代表取締役に就任。社員の意見を実現できる経営者を目指しますが、むしろ改革への反発や将来への不安で退職者が続出しました。そこで一念発起して同友会に入会し同年「経営指針をつくる会」を受講。自分が自社を知らず、ビジョンも示せて

いないことに気づきました。そして自社を「健幸創出啓発業」と定義した経営指針書を作成。今後の競争激化が予想される中、父が社名に込めた決意「帆(Sail)を掲げ先頭(van)を走る」を受け継ぎ、挑戦・行動を重視する指針を打ち立てました。

経営指針に基づいた経営を進め、手ごたえもつかみ始めたころ、新型コロナウイルスの流行が起きました。臨時休講や閉館を行ったセルヴァンは会員の25%が休退会に至りました。そこでお客様の運動習慣継続のため動画レッスンをスタート。高い評価を受けましたが社内は疲弊します。東海林氏は「理念を共有し、理解してもらうことが不足していた」と自省。理念の人間性を明確化、浸透させ、心身ともに健康で、自己実現や生きがいを支えられる企業になる必要があると痛感しました。現在は、社員のメンタルケアから発展し、専門家と連携して精神の健康をケアするサービスに着手するという共創(シナジー)が生まれています。

セルヴァンの経営理念の科学性には「新しい『うごく』を提案する」と掲げており、専門家とも連携しIoTデバイスも利用し顧客の運動・健康データを収集、分析、パーソナライズし価値を創出するなどのDXに取り組み、市場を「近隣の個人」から「全国の法人」にも広げることで、理念の社会性に掲げる「健やかな地域づくりを推進し、笑顔溢れる幸せな社会」も実現する未来を見据えています。そして最後に「社名が示す『帆を掲げ先頭を走る船』のようにどんな風もみんなで乗りこなす推進力に変えられる、無限の可能性を持つ企業を目指し進んでいきたい」と抱負を語りました。

その後、「変化に対応できるチームはありますか？」のテーマでグループ討論を行いました。理念の浸透した組織、変化に対応できるチーム作りについて、全国各地の経営者が熱く語り合い、盛会裏に終了しました。

夕方から2時間のビジネスアイデア発想訓練研究室



山形支部では、ビジネスの活性化や社会・企業が持つ課題解決へ向けて、仲間づくり・仕事紹介・新たな価値創造の場となる「SPラボ」を発足させました。6月1日、山形市売上増進支援センターY-Bizにおいて第1回学習会が開催され、21名が集い、共にアイデアの生み出し方のトレーニングを行いました。第1回のレポートが届きましたのでお知らせいたします。

「マスク生活が日常となった現在、自社の商品の価値が変わるのではないかと。そんな発想の転換から『マスクが日常になった今』に合わせた新商品が発売されている。商品名は『ミンティアマスク』マスクをかけた自分自身が香りを楽しめる、自分のためのミンティアマスク誕生である。これがアイデア発想。新しい商品の企画、サービスへの着想だ」

2018年に立ち上がったスマイルパートナーは、2021年6月1日にSPラボとして発足。そのオープニングはこんな話から始まりました。

ファシリテーターはワイビズの富松希センター長。参加者は200人から選り抜かれた18名の経営者。同友会の会員企業同士が協力し、強みを持ち寄ることによって地域課題解決のための新事業創出をするのが目的です。

将来的には会員同士が連携し新商品、新サービスを生み出すことを目指します。発想のコツは連想と想像。発想のタネを組み合わせることで連想し想像する。

富松氏の歯切れの良い座学があっという間に過ぎ、次はお待ちかねのワークショップです。「60代以上向けの商品、サービスを考える」をテーマに、6班に分かれてアイデアの生み出し方をトレーニング。「社会課題」、「自社事業」、「最近のトレンド」を各自カードに記入し4枚を上から順に開けていきます。脈絡のない単語の組み合わせができますが、それがむしろカードゲームのようでもあり、グループ討論の

緊張感とは違った和み感でアイデア出しが進みます。正解はないのでみんな発想が自由。大いに盛り上がったところでタイムアップ、いつもなら各班の発表となるのですが、ここでも富松氏からの一刀両断の総括がなされリラックスモード。大いなる笑い拍手の中で初回SPラボは終了となりました。

今後、SPラボは月1回の開催を継続しさらなる相互理解と連携を進めていきます。

最後に、個人的にこれが商品化されたら面白そう、と思ったのは「会話不足解消アプリ(夫婦間)」「高齢者向け孫のおもちゃ作成キット&動画セット」ですね。いつの日か実現せんことを……。

(記:田宮印刷(株) 前田晃)



第3回SPラボ

日時 **2021年 8月3日(火)**
18:00~20:00

場所 **山形市売上増進支援センター
Y-Biz 3階会議室**
山形市旅籠町 3-5-1 TEL 023-616-7900

定員 **20名様限定**
(同友会会員限定、一社より2名まで参加可能)
経営者はもちろんのこと、企画、マーケティング担当の方もご参加いただけます！

7月例会のご案内

山形支部

常に先を見据えて変革と実践 ～逆風に立ち向かう飲食店経営者の挑戦～

2021.7.20(火) 18:30～21:00

場所: TISカンファレンスセンター A会議室&Zoom
山形市漆山字大段1865-5 ☎0120-730-389

報告者: ジョウセン(株) 代表取締役 小林亮太氏

長らくコロナ禍で多くの企業が影響を受けており、飲食店は打撃を受けた代表例といっても過言ではありません。そんな中、ジョウセン(株)ではこの状況が長期化することを社名の通り「常に先を見据えて」、店舗のリニューアル、テイクアウト商品・ギフト商品・スイーツなどの開発を“短期間”で実施。また小林社長は、自ら農業を行い生産者の方の気持ちを社員さんと共に感じる場を作るなど「食福」をお届けするために走り続けています。ここまで様々な取り組みを行える秘訣は「社員に任せる」こと。危機的状況からどのように現状共有をし、行動していったのか。変化に対応する組織づくりについてご報告いただきます。グループ討論は「自分たちの想いどう伝えていきますか?」をテーマに行います。

皆様奮ってご参加ください。ゲスト参加もお待ちしております。

さくらんぼ支部

心配なく働ける職場づくりを目指して ～斉加商店の七転び八起き～

2021.7.27(火) 13:30～16:00

場所: 壽屋 野守の宿&Zoom
山形県東根市本町6-36 ☎0237-42-0173

報告者: 斉加商店 代表 斉加義三氏

コロナ禍の中、飲食業界は大きな打撃を受けるとともに、変革を求められています。コロナ禍を乗り切るために、いち早くテイクアウト事業にも乗り出し、社員と共に笑っているようを言葉に常に前を向き続ける斉加社長。斉加社長は「心配なく働ける職場をつくりたい」と、職場環境の見直しに積極的に取り組んできました。今年初めて新卒採用し、より一層良い職場をと想いを新たにしますが、入社後3か月で退職してしまいます…。なぜなのか?を考えた末に行きついたのは、働きがい、仕事のやりがいを伝えられていたのか?社員と向き合う時間を十分に取れていたのか?という気づきでした。

経営者に求められる仕事は何か、斉加社長の TRY&ERROR から一緒に考える機会にしましょう。

置賜支部

社員と共に未来づくり、夢づくり ～社員の自主性を引き出す仕組みづくり～

2021.7.30(金) 18:30～21:00

場所: 伝国の社
米沢市丸の内1-2-1

講師: (株)菓子工房COCOイズミヤ 代表取締役 庄司薫氏

美味しいお菓子を作れば売れるだろうと思っていた庄司社長。しかし、お店は赤字が大きくなったり、社員が辞めたりで、何をやってもうまくいかない…。

それでも同友会で作成した経営指針書をもとに社員共育委員会で学びながら実践を続けました。社員とどんな会社にしたのかを語り合いながら、目標達成に向けて月次決算で進捗を管理する定例の会議、組織図・職務分掌表・力量表を作成し、役割を明確にした上で育成を図ってきました。昨年のコロナ禍においては、春先に売上がダウンしましたが、社員の意見から贈答用の商品強化を図るなど、新たな取り組みも生まれ、社員の成長を感じる機会になりました。

想いを共有し、社員が自主性を発揮できる職場をめざして取り組む庄司社長の実践報告です。ぜひ、お問い合わせの上でご参加をお待ちしております。

寒河江支部(寒河江市商工会青年部合同例会)

学ぶために必要な事とは?

2021.7.28(水) 18:30～20:30

場所: 寒河江市技術交流プラザ
寒河江市中央工業団地153-1 ☎0237-86-1991

報告者: (株)大久保硝子店 代表取締役副社長 大久保徳朗氏

先の見えない状況下で、「意図を持った学び」が重要になってきている。何を学び、学びを深めて気づき、行動し、さらに再び何を学び続けるのかということが続けることが必要ではないであろうか。大久保副社長の経験から、「意図を持った学び」の重要性を、青年部の方々とグループ討論を通じて、改めて「何を学び、深めるか?」ということを考える。
※zoom参加は「報告のみ可」となりますので予めご了承ください。

庄内支部

●鶴岡地区

BCP(事業継続計画)セミナー

●酒田地区

2021.7.29(木)

場所: 酒田市総合文化センター 411
酒田市中央西町2-59 ☎0234-24-2992

報告者: (有)グッピー園 代表取締役 高橋明氏

詳しくは追ってご案内いたします。

新庄最上支部

事業再構築補助金最新情報と 今後の見通し(仮題)

2021.7.27(火) 18:30～21:00

場所: わくわく新庄会議室
新庄市下金沢町15-11 ☎0233-23-0197

きらやか銀行さんから講師をお招きしお話しいただきます。詳細は追ってご連絡いたします。

女性部

女全交報告スペシャル

2021.7.9(金) 14:00～16:00

場所: 同友会事務局&Zoom

6月29日、第24回女性経営者全国交流会が「原点回帰 未来を育む 愛・知恵(愛知へ)」のメインテーマのもと、Zoomにてオンライン開催されました。社会システムや価値観が激変する現在、従来の枠組みにとどまらない、発想や想像力が求められています。

「労使見解」と「同友会女性部活動」の2つの現代的意義を読み解き、理解を深めようと山形から参加した参加者が全国の熱い学びを報告します。そして、「未来へ繋げていくこと」を深め合い、持続可能な企業づくり、ふるさとづくりの力にしていまいりましょう。会員の皆さま、経営者夫人の皆さま、女性幹部社員の皆さま、お問い合わせの上、お気軽にご参加ください。

第2回理事会報告

◆日時:2021年6月9日(水)午後3時00分~午後4時55分 ◆会場:TISカンファレンスルームC ◆議長:阿部副代表理事
◆出席者:(敬称略)(会場)川合、菅原、阿部(秀)、半澤、小川、庄司、松岡、齋藤、笹林、鈴木、齊加、佐藤(淳)、伊藤、服部、赤塚、大泉、武内、事務局矢作、芳賀、青木 (Zoom)西塔、佐藤(啓)、玉津、志田、涌井、中川、鏡

■開会挨拶

川合代表理事が同友会の立ち位置が変わってきたことについて触れ、「我々も一緒にやっているという意識を持ち、地域活性化のために活用していただきたい。また山形銀行では広域営業を加速するという報道があった。多様化・高度化するニーズに応え、より付加価値の高いサービスを提供するという考え方の大改革です。我々中小企業も世の中の変化のニーズに応えるように変化しなければならぬ。スピードも大切に、情報を掴むためにも同友会の場を生かしていただきたい」と述べました。

■学習会

第42回食品産業優良企業等表彰の農商工連携推進タイプで農林水産大臣賞を受賞した半澤専務理事から、これまでの六次産業化の歩みと鳥インフルエンザにより供給量不足が続いている市場動向、コロナ禍にあつての自社の戦略について報告があり、その後に質疑応答が行われました。

次回報告者:佐藤啓氏

■報告事項

- 1)第36回中同協役員研修会5/20(Zoom開催)4名参加
志田理事が中同協の広浜会長、中山幹事長、鋤柄相談役幹事の講義とグループ討論から学んだことを紹介し、「経営者自身が変わり、違いを認め、関わり合っていく大切さを知ることが出来た」と報告しました。
- 2)中同協第53回定時総会6/1(Zoom開催)6名参加
菅原代表理事が広浜会長の挨拶、本質に迫った同友会づくりで昨年度全国最高の会員増を達成した長野同友会の松本代表理事が報告した第3分科会について紹介し、最後に中山幹事長より、まとめとして「経営指針の確立と全社実践をしっかりと行う」「地域の課題を企業や連携で解決していくことが重要」「事務局体制の安定と強化」「同友会ビジョンの見直し」の提起があったと報告しました。
第2分科会に参加した松岡理事からは、手袋の町がどんどん衰退し、どうやって残すかということと日本一の職人の町にする地域との連携などの取り組みをしてきたことなどが参考になった。地域に人を残す、帰ってくる場所をつくる、連携して新しい産業をつくるのが今後の未来をつくることにつながると報告がありました。
- 3)中同協第1回幹事会6/1(Zoom開催)2名参加
菅原代表理事より新年度の役員体制、議案に対する取扱い、全国行事の案内などの議題で開かれたことの報告がありました。
- 4)第26期経営指針をつくる会開講 5/29.30 5名受講
小川理事より山形支部から3名、寒河江支部から1名、庄内支部から1名が受講して第1講が開かれ、修了までしっかりフォローしていくとの報告と、修了された役員の方々に協力の依頼がありました。
- 5)支部幹事オリエンテーション
川合代表理事より寒河江支部、置賜支部、新庄最上支部が終了し、6/10山形支部、7/6さくらんぼ支部の予定との報告がありました。
寒河江支部 6/1(火) 菅原代表担当
庄内支部 6/8(火)19:30 川合代表担当
置賜支部 6/4(金) 川合代表担当
山形支部 6/10(木)18:00 菅原代表担当
新庄最上支部 6/7(月) 川合代表担当
さくらんぼ支部 7/6(火)13:30 菅原代表担当
- 6)2021年度5月月次報告
矢作事務局長から、5月の月次報告がありました。
- 7)2021年度5月月次決算報告
矢作事務局長から、5月の月次決算報告がありました。

■承認事項(入・退会承認) 入会1名 425名

■討議事項

議題1:組織委員会より

菅原代表理事より広報委員会のメンバーが決まり、本日の理事会終了後に第1回広報委員会が開かれること、新会員オリエンテーションの予定と担当についての報告、ビジョンづくりでは社会課題をプレーストーミングで出し合い、その課題解決のために同友会としてありたい姿、何に取り組んでいくかについて議論した報告がありました。

議題2:第24回女性経営者全国交流会について

鈴木理事より第4分科会の準備状況の報告、参加目標数の確認が行われ、女性部としての目標15名達成にむけての参加呼びかけが行われました。

議題3:第49回青年経営者全国交流会について

佐藤(淳)理事より開催要項についての説明があり、中同協よりの参加目標20名を承認しました。

議題4:金融機関の動向・最低賃金など経営への影響

奥山享税理士より「金融情勢について」の問題提起があり、その後、参加者による情報交換が行われ、対応について議論がありました。

■その他

- 1)共同求人委員会より
松岡理事より下記の報告と予定の説明がありました。
①山形大学
・米沢キャンパス 基盤共通教育「山形からキャリアを考える」
6/3 玉津弘之氏担当
・小白川キャンパス 基盤共通教育

- 「フィールドワーク山形の企業の魅力」7月 小川大輔氏担当
・2021年度山形大学低学年インターンシップ履修生 41名
- ②東北福祉大学よりトップメッセージの依頼があり、メンバー企業の経営者が学生に向けてのメッセージ動画を撮影配信
- ③やまがた就職促進奨学金返還支援事業の産業人材確保枠の登録を継続依頼
- ④小学生、中学生を対象とした企業見学の紹介がありました。
- 2)山形県産業技術振興機構より女性活躍推進に向けて研修の案内依頼
・ものづくり産業マネジメント人材育成研修9/29から5回
・現場リーダースキルアップ研修(女性対象)11/16、17
- 3)情報提供
齋藤(志)理事より中小企業共同プラットフォームに関する紹介がありました。
- 4)今後の予定について
・6月17日(木)第26期経営指針をつくる会第2講
9:00~ TISカンファレンスセンター
・6月25日(金)北海道東北ブロック代表者会議
(オンライン)10:00~12:00
・6月29日(火)第24回女性経営者全国交流会(オンライン)
・7月6日(火)中小企業魅力発信月間キックオフ集会(オンライン)
・7月14日(水)中同協・経営労働委員会(オンライン)
・7月19日(月)幹部社員研修第1講
18:00 TISカンファレンスセンター
・7月31日(土)第26期経営指針をつくる会第3講
9:00~ TISカンファレンスセンター
・8月24日(火)中同協第2回幹事会(オンライン)13:00~14:50
・8月24日(火)2021組織強化・会員増強全国交流会
(オンライン)15:00~18:00
・8月25日(水)幹部社員研修第2講
18:00 TISカンファレンスセンター
・9月9日(木)第49回青年経営者全国交流会
・9月21日(火)2021経営労働問題全国交流会(オンライン)
- 5)理事会の予定
●日時:7月14日(水)15:00~17:00
●会場:TISカンファレンスセンター

■閉会挨拶

伊藤理事が「半澤氏、奥山先生のお話と、参加することで学ぶことが多くあった。毎回、理事会では学ぶことがあり、支部でもそういったことができるようにしていきたい」と述べました。

新会員紹介

こまざわ よしみ
◆ 駒澤 好美氏

(有)菅原物流 取締役山形営業所所長
一般貨物運送・構内作業委託
山形支部

社名・役職変更

- (有)菅原運送→
(有)菅原物流 代表取締役 菅原司氏(庄内支部)
- 西村総合保険 代表→
ケーズライフコンサルタント(株) 顧問 西村清氏(山形支部)
- (有)東住宅産業 常務取締役→
代表取締役 白鳥明美氏(さくらんぼ支部)
- (株)セロン東北酒田支社 執行役員酒田支社長→
(株)セロン東北鶴岡支社 執行役員鶴岡支社長
菅原政久氏(庄内支部・鶴岡地区)
- (株)セロン東北 渉外部長→
執行役員渉外部長 鈴木康雄氏(山形支部)

会員変更

- (株)セロン東北米沢支社 執行役員置賜地区統括部長 高橋一弘氏→
執行役員米沢支社長 木村勝彦氏(置賜支部)

同友やまがた7月号(2021年7月1日発行/通巻340号)



“知り合い、学び合い、援け合い”
山形県中小企業家同友会

〒990-2161 山形県山形市大字漆山字大段1865-5 TISビルディング201
TEL (023) 615-8302 FAX (023) 615-8304
URL:http://yamagata.doyu.jp/ E-mail:info@yamagata-doyu.jp